

講義名: 国際政治事情研究B <秋> 曜日: 月3 担当教員名: 松村 昌廣	ナンバリングコード: POLS2440 曜日2:				
研究室: 聖アンデレ館10階1010号室 オフィスアワー: 事前アポで月～金(秋学期中)で双方の都合で日時は柔軟に行います	メールアドレス: masahiro@andrew.ac.jp				
授業形態					
『講義』					
講義・演習概要					
<p>授業のテーマ及び到達目標 ビデオその他資料を活用して、全体としては初級レベル、時として中級レベルの講義内容になるよう講義を進める。ただし、ここでいう「初級レベル」というのは簡単という意味ではない。当然、高校レベルの知識、大学生としての社会科学の思考や基本的知識を習得していることを前提にしている。こうした準備ができていない学生には単位の取得は困難であろう。この講義により発展途上国を対象とする地域研究において政治、経済、社会の諸側面から、いかに総合的な分析に取り組みかを実例を示しながら学生に理解させることを目標とする。</p>					
学習(到達)目標					
<p>政治学、社会学、経済学など社会科学の基礎をよく理解した学生を念頭に講義を行う。また当然、高校の世界史、日本史、地理、政治経済、現代社会などの関連科目をしっかり学習してきたことを前提に行う。 この講義では発展途上世界を比較分析に必要な基本的な発想、着眼点、分析手法を会得するためはじめに初歩的な理論的考察を行い、その後いくつかの重要なケーススタディーに取り組む。しかし、広大な発展途上世界を全てカバーすることは不可能であるから、多様な理論の適用可能性、時事的重要性に鑑み、北朝鮮問題と中国問題を取り扱うこととする。</p>					
講義・演習計画					
【第1回】 国際関係論と地域研究					
【第2回】 システム論的アプローチ / 比較研究アプローチの危機・・・「理論の島々」					
【第3回】 北朝鮮(1)朝鮮半島の戦略的位置付けと地理的要因					
【第4回】 北朝鮮(2)朝鮮半島の歴史・・・戦争と平和の観点から					
【第5回】 北朝鮮(3)北朝鮮の政治と社会					
【第6回】 北朝鮮(4)北朝鮮の国際行動・・・不法活動を中心に					
【第7回】 北朝鮮(5)北朝鮮と日本の関係・・・経済・金融関係を中心に					
【第8回】 北朝鮮(6)日本の安全保障に与える影響					
【第9回】 中国(1)中国大陸の地理と戦略環境					
【第10回】 中国(2)中国の歴史・・・戦争と平和の観点から					
【第11回】 中国(3)中国の近現代史・・・国内的混乱と国際関係					
【第12回】 中国(4)中国の現状・・・社会的不均衡拡大と政治的安定性の問題					
【第13回】 中国(5)日本の安全保障に与える影響					
【第14回】 中国(6)まとめ					
【第15回】 全体のまとめ・試験					
成績評価の方法					
試験	100%	レポート		その他	
コメント	<p>テスト(100%) ただし、受講者が少ない場合、テスト(50%)、授業への積極的な参加(討論、発表、授業内課題等の評価を含む)(50%)。 コロナ禍で遠隔講義となった場合は、M-PORTを介したレポート試験(完全論述形式、3000字～4000字)とする。</p>				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
随時、資料を提示する。					
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)					
<p>松村昌廣『日米同盟と朝鮮半島』芦書房 松村昌廣『米朝覇権の凋落と日本の国防』芦書房 松村昌廣『東アジア秩序と日本の安全保障戦略』芦書房</p>					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
(旧:国際政治事情研究)02～19E・SS・SW・B・L・J					

